

令和4年度「みどりの日」自然環境功労者環境大臣表彰受賞者一覧

【保全活動部門(12件)】

計25件

No.	受賞者	功績概要	推薦元
1	こどもりかいがんをまもるかい 小泊海岸を守る会 (青森県)	平成19年より、小泊マリンパーク周辺や矢形石海岸等の清掃活動、中泊町が毎年開催しているビーチサッカー大会への参加呼びかけとともに普及啓発活動、中泊町の特産品であるウスメバルの稚魚の放流による海洋環境や海洋生態系を健全に保つための保全活動等、地域の自然環境保護活動に尽力。	青森県
2	こうえきざいだんほうじんぐりーんとらすとうつのみや 公益財団法人グリーントラストうつのみや (栃木県)	平成3年より、ボランティアによる下草刈り、枯れ木の伐採、倒木処理、外来種の駆除、生物個体数調査等の宇都宮市内4つの樹林地の緑地保全活動、園児や小学生といった児童への自然学習の支援事業活動、市民を対象とした自然と親しむ機会の創出活動等、地域の自然環境保護活動に尽力。	栃木県
3	くまがやしむさしとみよをまもるかい 熊谷市ムサシトミヨをまもる会 (埼玉県)	昭和62年より、河川の清掃や管理作業やパトロール、外来種の駆除等の生息環境整備活動、地元の小中学校でムサシトミヨの増殖池新設に協力し、児童・生徒への指導や熊谷市ムサシトミヨ保護センター見学者への解説といった普及啓発活動等、地域の自然環境保護活動に尽力。	埼玉県
4	すがま ひろこ 菅間 宏子 (埼玉県)	平成15年より、荒川の自然を守る会を設立し、保全整備活動や三ツ又沼ビオトープの環境管理、環境学習の場の活用を始め荒川周辺の自然保護活動や里山再生プロジェクトなどにも取り組む等、地域の自然環境保護活動に尽力。	公益財団法人 日本生態系協会
5	みずしま しょうじ 水島 彰治 (神奈川県)	平成4年より、荒廃した地域においていち早く清掃活動、植樹活動、森林再生活動を開始し、丹沢大山の自然環境保全・再生に大いに貢献した他、一般県民が参加しやすい事業として体制づくりといった普及啓発活動等、地域の自然環境保護活動に尽力。	神奈川県
6	とくていひえいりかつどうほうじん とがひしょうのかい 特定非営利活動法人利賀飛翔の会 (富山県)	平成9年より、地域内の環境保全、社会教育、まちづくり等を目的とした活動、金剛堂山登山道を登山口から頂上までの整備や尾洞山登山道や水無山の登山道等の整備を進めてきており、地域の自然環境保護活動に尽力。	富山県
7	こづつみにしいけのかきつばたをまもるかい 小堤西池のカキツバタを守る会 (愛知県)	昭和51年より、40年以上にわたり池の定期的な観察・管理活動、開花時期における見学者への案内や池周囲の環境整備活動、肥料や除草剤などを使用しない除草作業活動、池の水源である東側丘陵地の竹の伐採や外来生物の駆除活動等、地域の自然環境保護活動に尽力。	愛知県
8	こうえきしゃだんほうじんおおすぎだにとざんせんたー 公益社団法人大杉谷登山センター (三重県)	昭和52年より、旧宮川村を中心に吉野熊野国立公園・大杉谷において、山岳パトロールや山岳遭難救助活動を行い、現在では登山道の維持管理、登山道の観光PR、安全登山の啓発、一般の参加者を募ったボランティア整備プロジェクト、森林環境教育活動等、地域の環境保護活動に尽力。	三重県
9	ちかみ さとし 千頭 聡 (京都府)	平成17年より、藤前干潟協議会の委員長を務め、国指定の藤前干潟鳥獣保護区内及び周辺の堤防等の改修工事、環境調査、環境教育活動、渡り鳥の飛来状況等について地元住民やNPO法人等の意見の調整を行い、工事等による自然の改変を最小限に抑える努力等の実現等、地域の自然環境保護活動に尽力。	中部地方環境 事務所
10	かめおかさんやそうをまもるかい 亀岡山野草を守る会 (京都府)	昭和48年より、減少傾向にある岩つづじの補植事業活動を行い、亀岡保津川の景観の維持・回復といった保全活動、地元民や観光客に普及啓発を呼びかける活動等、地域の自然環境保護活動に尽力。	京都府
11	みよしりつみなわしょうがっこう 三好市立三縄小学校 (徳島県)	平成12年より、サギソウの保護活動を行い、毎年1,000個以上の球根から育苗に植え替え生育させ、三好市池田町黒沢湿原において植え付けといった、地域の自然保護活動に尽力。	徳島県
12	えんとつやまくらぶ えんとつ山倶楽部 (愛媛県)	平成20年より、生子山の登山道整備や、地元住民と協力して環境美化意識の高揚を図るほか、別子銅山の負の象徴である公害や環境問題を抱えていた生子山を、継続的な取組で蘇らせた歴史を伝える活動を行うなど、地域の自然保護活動に尽力。	愛媛県

【いきもの環境づくり・みどり部門(6件)】

No.	受賞者		
13	にほんかんとりーくらぶ 日本カントリークラブ (埼玉県)	昭和53年より、植樹・環境保全・普及啓発等の環境緑化事業に協力することにより、みどり豊かな環境の国土づくりを目指し、埼玉県の学校や公園、福祉施設等の社会公共施設の緑化植樹・環境保全・緑化普及啓発等の事業推進に44年間活動し、みどりの普及等推進活動に尽力。	公益社団法人 ゴルフ緑化推 進会
14	ささき ゆか 佐々木 由佳 (神奈川県)	平成7年より、公園等で美化活動、歩道の植栽や公園等への植樹、植樹後の下草刈りや枝打ちなどの緑化活動を行い、平成19年には、地域と連携し、率先して緑化・清掃活動を実施するとともに、将来を見据えて子どもたちにも参加を呼びかけ、以後は後進の育成に努める等、みどりの普及等推進活動に尽力。	神奈川県
15	ろっぽうめだかこうえん 六方めだか公園 (兵庫県)	平成11年より、めだかをは始めとする水生生物が生息・生育できる水田生態系の保全・再生活動、休耕田を利用した参加型作業公園を活かして、児童・市民に対する環境体験学習及び児童・生徒とともに実施する調査研究活動等、いきもの環境づくり活動に尽力。	兵庫県
16	おざわ じゅん 小澤 潤 (愛媛県)	昭和58年4月より、企業や住民等と連携してウンランなど希少動植物の保護活動を行い、近年では、「ヒロハマツナ」群落自生地を四国で初めて発見し論文を発表したほか、県レッドデータブック改訂委員会専門分科会委員として貢献するなど、いきもの環境づくりに尽力。	愛媛県
17	いとう けいたろう 伊東 啓太郎 (福岡県)	平成12年より、生物多様性の保全・創出を考えた公園緑地のデザイン、設計、研究等の自然再生設計プロジェクトに携わり、生物多様性の回復、向上が見られると同時に、子どもたちの環境教育の場、人々の憩いの場となっており、生息環境の保全、自然とのふれあいの場の創出に大きく貢献し、いきもの環境づくり活動に尽力。	福岡県
18	がっこうほうじんつづきくいえいがくえんにほんけいざい だいがく 学校法人 都築育英学園 日本経済大学 (福岡県)	平成10年より、日英学術文化交流締結記念庭園としてイングリッシュガーデンとして開園し、入園無料で通年開放。園内の森には野生動物が生息し、地元の小中高生による生物多様性学習の環境授業に利用されており、通年で市民や地元の幼稚園保育園児が自然遊びを通して動植物に触れ合う機会を提供し、みどりの普及等推進活動に尽力。	福岡県

【自然ふれあい部門(4件)】

No.	受賞者		
19	しらかみまたぎしゃ 白神マタギ舎 (青森県)	平成12年より、白神山地特有の自然環境を活かして、利用者のレベルに応じた多様なエコツアーを実施し、遺産地域としての価値・魅力の発信。平成21年以来は、核心地域にあたる奥地での巡視に協力、遺産地域内での動植物の調査業務ではルートガイドや情報提供を行う等、自然とのふれあい活動に尽力。	東北地方環境 事務所
20	いっぽんしゃだんほうじん にほんいんたーぷりてー しよんきょうかい 一般社団法人 日本インタープリ テーション協会 (東京都)	平成7年より、インタープリテーションの普及や向上を通じて社会に貢献することを目的に、人材育成・ネットワーキング・研究開発などの事業を行い、インタープリターの養成に先駆的に取り組んできており、自然ふれあい・人材育成活動に尽力。	環境省自然環 境局国立公園 利用推進室
21	ほづがわゆうせんきぎょうくみあい 保津川遊船企業組合 (京都府)	平成16年より、独自に清掃活動を実施しており、近年では、保津川の水質や漂着ごみ・プラごみの現状を視察する2種類のツアーを実施し、環境のリーディングシティ亀岡をアピールする事業を展開。河川敷での清掃活動を行うなど河川ごみの現状を知ることにより、環境への意識の醸成を図ることを目的とした体験型環境学習ツアーを実施し、自然ふれあい・人材育成活動に尽力。	京都府
22	はりもやまこうえんてづくりいんかい はりも山公園手づくり委員会 (島根県)	平成12年より、荒れた里山を再生する取組として針藻山の開拓活動を行い、地元自治会を中心にボランティア活動や植樹会などの各種イベントを実施、里山の自然環境づくりに取り組み、自然観察指導員及び島根県森林インストラクター資格保持スタッフによる自然観察会の開催を行うなど、自然ふれあい・人材育成活動に尽力。	島根県

【調査・学術研究部門(2件)】

No.	受賞者		
23	やじま みのる 矢島 稔 (東京都)	昭和32年より、豊島園の昆虫館創設に携わって以来、多摩動物公園の昆虫飼育展示を指導して昆虫生態園、昆虫園本館等の施設整備の中心的役割を担う。この経験を元に伊丹市昆虫園、群馬県立昆虫の森など全国の昆虫展示施設の開設、海外の動物園での昆虫類飼育展示にも協力してきた。皇居におけるホタルの保存活動に貢献し、日本の昆虫の調査・研究に尽力。	公益社団法人 日本動物園水族館協会
24	すずき かつみ 鈴木 克美 (静岡県)	昭和31年より、江ノ島水族館、金沢水族館建設主導を経て静岡県三保の東海大学海洋科学博物館の建設、開館後はその管理運営に携わり、同館の社会教育活動、学校教育施設、研究施設としての発展に大きく寄与。日本産ハナダイ類を始めとして各種魚類の生態学的、繁殖活動などの調査研究をおこないその研究成果を生かした博物館の教育活動、生物系学校教員、学芸員の指導、執筆活動等で日本の魚類の調査・研究に尽力。	公益社団法人 日本動物園水族館協会

【国際貢献部門(1件)】

No.	受賞者		
25	やまざき とおる 山崎 亨 (滋賀県)	昭和51年より、鳥類生態学を学び、畜産行政や家畜伝染病予防業務に携わりながら、イヌワシ・クマタカの生態研究および野生動物医学を通じた自然環境保全に取り組み、平成11年にアジア猛禽類ネットワークを設立し、アジア全域での猛禽類研究者の育成および猛禽類の研究と保護を通じた自然環境保全に尽力。	公益財団法人 日本鳥類保護 連盟